











おてのもの



あるひカゲタは、トタにこういいました。
「なぜぼくは、まっくろなんだろう」



ふたりはにじのシャワーをめざして
たびにでました。



チーターになって
そうげん をかけぬけ

イルカとともに
うみをわたり









カゲタがシャワーをあびると
みるみる、いろがついていきました

「さっそく、かえってあそぼう」



カゲタは、とりにへんしんしようと
とびあがりました。



いろがつき、かげではなくなったカゲタは
へんしんすることが、できなくなっていました





カゲタはなきました。
おおごえをだして、なきました





なきやむころには、いろがおち
カゲタはもとのまっくろカゲタに
もどっていました。

「みかけより、じぶんらしさがあるほうが
ずっと、たいせつなんだよ」



そうって、トタは
カゲタをそっとだきしめました

それからカゲタは、いままでのじぶんが
だいすきになりました



「まっくろカゲタ♪」
そううたいながら、ふたりは
しまにかえっていきました





Jota and Kajata ..

2010.9.1 v.1na